

令和2年度 事業報告

1. 上伊那地域経済牽引事業促進協議会

コロナ禍の影響で、当財団に関わる活動内容はありません。

2. 人材育成研修事業

1) 人材育成研修会（一部元気づくり支援金活用）

一部令和2年度長野県地域発元気づくり支援金事業「AI・IoT展開のための人材育成事業」を活用し、企業人材のスキルアップのため経営改善、技術向上、品質改善、環境改善、人間性向上などをテーマとした人材育成研修会を開催しました。

①開催場所 伊那技術形成センター 研修室・メカトロ研究室

②開催講座 新型コロナウイルス感染症の影響で、研修会の開始が6月末からとなりましたが、予定26講座に対して、21講座を開催できました。
受講者数 277名（コロナ対策で募集減）

③その他 上伊那8市町村の後援をいただきました。元気ビジネス応援隊アドバイザーが講師として担当した講座は元気づくり支援金事業「AI・IoT展開のための人材育成事業」にて実施しました。

④実績一覧 「＊」の講座は、元気ビジネス応援隊アドバイザーが講師を担当。

講座名		開催日	時間	募集人数	実績人数	補助対象 (元気づくり・中央会)
人材育成講座	接遇とビジネスマナー研修	6月29日 (月)	7	24	17	
人材育成講座	コミュニケーションとチームワーク研修	8月24日 (月)	7	24	6	
経営改善講座	財務会計／決算書研修	8月27日 (木)	14	24	4	○
	内部監査員講座	8月31日 (月)	13	24	16	
＊	ISO9001内部監査員養成研修（第1回）					
＊	工程改善講座	9月3日 (木)	14	24	8	○
＊	5Sと現場研修					
＊	技術講座	9月9日 (水)	7	24	7	○
＊	プレス加工と製品設計の基礎研修					
＊	技術講座	9月23日(水)	7	24	4	○
＊	プレス金型設計の基礎研修					
	品質改善講座	10月12日(月)	13	24	10	○
	食品安全研修	10月13日(火)				
	内部監査員講座	10月19日 (月)	13	24	17	
	ISO9001内部監査員養成研修（第2回）					
	経営改善講座	10月26日(月)	14	20	5	○
	理念経営と部門別採算管理研修	10月27日(火)				
＊	技術講座	10月29日(木)	14	20	9	○
＊	成形の品質研修	10月30日(金)				
＊	品質改善講座	11月5日(木)	7	24	15	
＊	品質改善の基礎研修					
＊	技術講座	11月11日(水)	7	24	15	○
＊	半田付け実践技術研修(初級)					
＊	品質改善講座	11月16日(月)	7	24	16	
＊	4M変更管理研修					
	人材育成講座	11月24日(火)	7	24	15	
	女性社員研修					
＊	技術講座	11月25日(水)	7	24	13	○
＊	半田付け実践技術研修(中級)					
＊	品質改善講座	11月30日(月)	7	24	26	
＊	ヒューマンエラー					
＊	技術講座	12月1日(火)	7	24	26	○
＊	図面の基礎研修					
＊	工程改善講座	12月8日(火)	7	24	15	○
＊	トヨタ生産方式に学ぶ現場改善研修					
	内部監査員講座	1月18日(月)	13	24	16	
	ISO14001内部監査員養成研修	1月19日(火)				
＊	工程改善講座	1月28日(木)	7	24	17	○
＊	現場リーダーの役割と責任研修					
計				496	277	12

※研修会風景



接遇とビジネスマナー



ISO9001 内部監査員養成



半田付け研修



女性社員



ヒューマンエラー防止



トヨタ生産方式に学ぶ現場改善

2) 環境出前授業（元気づくり支援金活用）

小学生向けの、環境、省エネをテーマにした授業をGBOアドバイザー、職員の講師により実施しました。

①実施対象 辰野西小学校 4年生 70名が受講

②実施日 令和2年12月16日



辰野西小学校 授業風景



3) 出張職場体験講座（元気づくり支援金活用）

中学生向けの、小学生向けの内容に地域社会の仕組みや活動、企業のCSR活動、中学生との質疑応答などを加えて、GBOアドバイザー、職員の講師により実施しました。

①実施対象 伊那東部中学校 2年生 34名

②実施日 令和2年10月30日、11月6日



東部中学校 授業風景



4) 子ども科学工作教室（元気づくり支援金活用）

テクノ財団主催の子ども科学工作教室を支援しました。新型コロナウイルス感染症の影響で、工作キットの配付とアンケート回収となりました。

①開催日 令和2年12月26日（土）

②参加者 小学生80名

3. 元気ビジネス応援隊（GBO）事業

1) アドバイザー派遣による中小企業支援

企業、市町村、商工支援団体からの要望に基づき、主として以下の中小企業支援を行いました。

①主な支援内容 ・工程改善、品質改善、技術指導、受発注、人材育成、補助金申請など

②対応企業数 ・61社（内訳 添付資料）

③支援方法 ・中小企業トップ、担当者との相談レベルによる支援。
・企業現場へ踏み込んでの中長期的な伴走型支援、社員教育。
・ホームページ、電話などを介しての対応。
など。

2) 露地野菜コンソーシアム運営支援

内容 後述

3) 製造業等課題解決プロジェクト運営支援

内容 後述

4) AI・IoT展開のための人材育成事業（元気づくり支援金活用）

内容は他の活動と一部重複しますが、以下の活動につきまして元気づくり支援金の活用により取り組みました。

①企業内における問題・課題発見支援とIoT導入による解決支援

製造業等課題解決プロジェクトの活動と連動し、上伊那広域へ展開活動を行いました。

②他組織との連携

GBO活動充実のために、自治体や他の商工支援団体、教育機関との連携を進めました。

・自治体 伊那市；プロジェクト受託、情報交換など。

箕輪町；補助金申請審査、情報交換など。

南箕輪村； 同上

上伊那広域連合； Bizモデル研究

・ワンストップハブ；全体会議への参画とGBO独自の対応策検討など。

③人材育成研修会の講師

当財団主催研修会15講座の講師を、9名のアドバイザーと2名の外部講師が担当しました。

内容は前述人材育成研修に記載。

5) その他

GBO活動強化のためアドバイザーを募り、9名（禰宜田、岡田、飯島、伊藤、松澤、北原、唐澤、丸山、松原）の新アドバイザーが加入しました。

4. 南信工科短大振興会事業（受託事業）

1) 役員会・総会

- ・方法 コロナ感染対策のため、令和2年6月、書面決議にて実施しました。
- ・結果 当時総会員数 176、回答数121、賛成121にて実績、予定共に承認されました。

2) 研修会

①3DCAD研修（元気づくり支援金活用）

- ・テーマ 「製造現場のための3Dツールによる一気通貫入門」（上伊那産業振興会共催）
- ・開催日時 令和2年10月2日、9日、16日、23日、30日 各3時間
- ・講師 Material工房・テクノフレキス代表 藤崎 淳子氏
- ・参加者 会員企業18名
- ・概要 3D統合ツールFusion360を用いた講義と操作体験により、近年、受発注にも欠かせない3DCADの有効性を学び、導入のきっかけにするための講座としました。

②社会勉強会

- ・テーマ 企業の一員となるための心構え研修会
- ・開催日時 令和3年1月13日 13:10~15:00
- ・講師 KOA（株）人材教育センター 新倉 憲明氏
- ・対象 南信工科短大1年生
- ・概要 インターンシップでの大切なこと、社会人と学生との違い、就活で大切なこと、企業が求める人材などを学びました。

③新入社員研修

- ・テーマ 社会人となるための備え「接遇とビジネスマナー」
- ・開催日時 令和3年3月10日 3時間
- ・講師 まなびと 井坪 まゆ美代表
- ・対象 南信工科短大2年生（卒業生）
- ・概要 社会人としてのマナーや心構えなどを中心に、グループ討議、実技を通して当校出身ならではの身だしなみを学びました。



3DCAD 研修



社会勉強会



新入社員研修

3) 理工系人材応援教室（元気づくり支援金活用）

当初予定した「人材ふれあいフェア」はコロナ禍のために中止し、理工系人材の応援と南信工科短大周知を目的に、ホームページ、ケーブルテレビ、Youtubeを活用し以下の活動をしました。元気づくり支援金を活用しました。

①動画の制作と配信

- 南信工科短大情報やPRのみならず、学生の声、様々な取り組み、ものづくり体験レシピなどの動画を制作しました。また、動画は随時更新と追加を行っています。
- 制作した動画の主なテーマ
学校情報紹介、総合課題紹介、研究紹介、学生の声、卒業生の声、授業の様子、ものづくり講座、コマづくり大戦、制作数全28編
- 動画制作は伊那CATVと南信工科短大教職員、学生が担当しました。
- 動画は伊那CATVで放送した他、Youtube、南信工科短大と元気ビジネス応援隊（GBO）の各HP、にて発信しています。

ホームページ 南信工科短大 URL <https://www.nanshinkotan.ac.jp/>

GBO URL <https://www.genkibiz.net/>

②リーフレット、ポスターの制作

- ものづくりのスペシャリスト育成の場である南信工科短大と、南信工科短大振興会会員紹介リーフレット、ポスターを制作し配布しました。
- 制作数 リーフレット 5,000部、ポスター 200部
- 配布先 南信地区高等学校 26校、2年生 4,800名、他



4) 講演会（元気づくり支援金活用）

科学技術やものづくりへのチャレンジ精神向上や、学ぶことへのモチベーション向上を目的に以下の講演会を行いました。元気づくり支援金を活用しました。

- テーマ 「SUWA小型ロケットプロジェクトの5年間の軌跡」
- 開催日時 令和2年10月28日、1時間45分（オンライン併用）
- 講師 信州大学工学部准教授 中山 昇 氏
- 参加者 会員企業、学生、教職員など 約100名
- 概要 SUWA小型ロケットプロジェクトの概要や、これまでの取り組み、成果やの説明など。



中山先生

5) 産学共同授業・共同研究支援(元気づくり支援金活用)

①デジタルモールド講座

- ・講師 (有)スワニー社長 橋爪 良博氏
- ・開催日時 令和2年7月17日、15:10~16:50
- ・参加者 南信工科短大2年生、教職員、会員企業など 役60名
- ・概要 会員企業による最先端技術を学ぶため、プラスチック成形の基礎やデジタルモールド(スワニー社商標)の概要、事例などについて講義



橋爪先生

②製造業コマ大戦 講演・コマづくりレクチャー

- ・講師 タカノ(株) 中原講師
(株)マシンエンジニアリング 田中講師 (オンライン)
(株)飯沼ゲージ製作所 土橋講師 (オンライン)
- ・開催日時 令和3年1月29日、8:50~12:20
- ・参加者 南信工科短大機械・生産技術課1、2年生 31名
- ・概要 南信工科短大学生にコマづくりと大戦を通して、授業とは違う角度から加工技術、ものづくりの取り組み要素を学ぶため、振興会会員企業によりコマ大戦に関する講演とコマづくりレクチャーを実施しました。来年度、企業、高校、南信工科短大連携の取り組みのための試行としました。



コマ大戦講演

6) 卒業者交流支援

①卒業時の寄付

- ・OB会発足準備費として、第4期卒業生より1,000円/人、34人より寄付を頂きました。

②卒業者名簿

- ・今期まで4期生分の名簿を作成。

7) その他学校支援

①研究補助

- ・中島先生、鮎沢先生への研究に対して補助を実施。鮎沢先生は今までの本補助の支援による研究の結果、博士号を修得されました。

②卒業者への記念品贈呈

- ・卒業者全員に対し、名入りケース付きボールペンを卒業記念として贈呈しました。

③会員募集

- ・前期末時点176会員に対し7会員増の183会員となりました

④その他

- ・会員企業研究会への参加
- ・学生の成果報告会、卒業研究報告会への参加
- ・学校、振興会などの各種情報発信

など

5. 露地野菜コンソーシアム運営事業（受託事業）

①概要

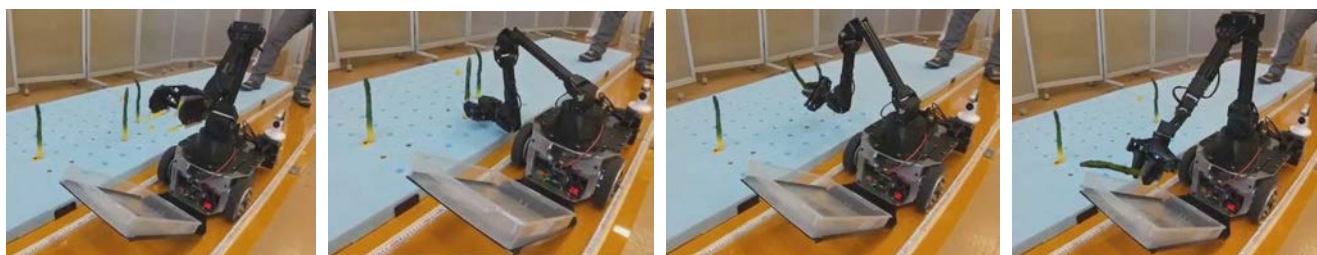
- ・伊那市農林部が、地域創生補助金を活用した農業改革の一環として取り組む、スマート農業部会におけるアスパラガスの自動刈取機の開発事業。
- ・上伊那産業振興会が開発事業を受託。
- ・令和4年度末にJA菜園にて実用化目標。

②実行体制

- ・伊那市、南信工科短大、企業（エクシンテック、中野屋ステンレス、アイシスウェア、アドライズ、林電機商会）、JA、上伊那産業振興会などで構成するコンソーシアムによる事業形態。
- ・開発計画の推進とマネジメントをGBOが受け持つ。

③令和2年度の結果

- ・基礎研究段階として、市販の機器を利用して自律走行、自動刈取機能を実現。
- ・刈取性能、現場での性能はまだ実用段階にはなく、次年度のオリジナル設計で実用レベルの試作を目指す。
- ・今年度、受託費1,620万円



アスパラガス自動刈取機の模擬菜園での試験の様子

6. 製造業等課題解決プロジェクト運営事業（受託事業）

地方創生補助金を活用した伊那市のスマート工業部会における取り組みの課題解決プロジェクト運営を受託し、企業のIoT導入による課題解決を図る取り組みを始めました。

①概要

- ・新産業技術の活用による既存産業の活性化、新産業創出を目的に、伊那市及び上伊那の企業の課題解決をIoT導入の視点から支援する。
- ・技術への対応力を付けることにより、地域の中小企業の経営強化をバックアップする。
- ・課題や問題の発見と改善を前提として、対策のアドバイスと導入をサポートする。
- ・3年間でIoT導入25社目標とする。
- ・伊那市の優秀計画事業者は伊那市の補助金対象とする。

②実行体制

- ・上伊那産業振興会が事業受託、全体管理、GBO4名がマネジメントと開発サポート。
- ・長野県ITコーディネータ、南信工科短大教員の技術サポート。

③令和2年度の結果

- ・詳細は別紙①GBO活動報告資料をご参照ください。
- ・今年度、受託費400万円

7. 交流促進事業について

産学官交流を軸に下記の外部活動を支援し、当財団の活動にも活かしました。

1) 世界一の会事務局の支援

①総会・役員会・定例会等

- ・通常総会 5/13 新型コロナウイルス感染症拡大のため、書面評決にて実施
- ・役員会 12/7、3/23 2回 延べ21名出席
- ・定例会 7/20 情報交換会
12/7 講演会
2/25 講演会 3回 延べ75名出席

②受注促進部会

- ・営業担当者情報交換会 7/14 15名参加
- ・会員企業の展示会等への参加（オンライン商談会）
諏訪圏工業メッセ2020 10/15～10/17
テクニカルショウヨコハマ2020 2/15～2/26

③未来経営部会

- ・諏訪東京理科大の産学連携コーディネーター及び産業雇用安定センター職員との交流

④厚生部会

- ・新型コロナウイルス感染症対策のため、活動を中止しました。



定例会・講演会風景（オンライン併用）

2) 郷土愛プロジェクトとの連携

- ・総会、未来ラボなど他各種事業への参加

3) 産学官交流事業（寄付金活用事業）の支援

- ・KOA寄付金活用による様々な地域貢献活動への資金支援

4) 伊那インター工業団地連絡会運営

- ①総会・地元区との懇談会 活動実績・計画の報告、地元区との課題検討
- ②団地内一斉清掃 9/11 16社 50名の参加
- ③地区協力費徴収や各種情報の発信
- ④諏訪日本赤十字と協力して団地内での献血活動 2回（10/27、2/24） 40名の協力
- ⑤その他 新型コロナウイルス感染症の影響でレクリエーションは中止しました。

※団地連絡会活動風景



団地連絡会

団地内清掃

5) リニア新幹線開通に向けた活動の支援

今期はコロナ禍の影響で会議などの活動は控え、従来の関連団体の自主活動に留めました。

8. 情報提供事業について

1) 情報提供

資料・書籍・工業製品展示

2) 情報発信

ダイレクトメール、ホームページによる各種情報発信

URL <http://www.ina.janis.or.jp/~keisei/>

9. 伊那技術形成センターの運営管理事業について

1) 施設貸し出し実績（添付資料3ページ 「伊那技術形成センター利用状況」）

①利用件数 会議室29件 研修室65件 メカトロ研究室7件

②主な貸出先 伊那労働基準協会、アジマ自動車学校、北山ラベス、テクノ財団 など

2) 令和2年度 修理とメンテナンス

・屋上部分防水工事	2,400 千円	（総工事費の半額）
・その他	78 千円	
合計	2,478 千円	